



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月27日

上場会社名 櫻島埠頭株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9353 URL http://www.sakurajima-futo.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松岡 眞  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役(経理部担当) (氏名)谷本 祐介 (TEL)(06)-6461-5331  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,036	9.3	131	180.7	167	80.3	98	△1.7
2023年3月期第2四半期	1,862	△8.9	46	2.2	92	22.0	100	43.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 717百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △39百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	65.59	—
2023年3月期第2四半期	67.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,849	5,689	64.3
2023年3月期	7,943	4,968	62.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,689百万円 2023年3月期 4,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	4,000	3.5	170	8.2	240	△1.4	140	△27.5	93.20	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	1,540,000株	2023年3月期	1,540,000株
2024年3月期2Q	27,940株	2023年3月期	33,040株
2024年3月期2Q	1,509,146株	2023年3月期2Q	1,501,260株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による社会・経済活動の正常化が進展し、緩やかに回復の動きが見られる一方、ウクライナ情勢等を背景とする原材料・エネルギー価格の高騰、物価上昇や金融・為替市場の急激な変動、中国経済の停滞など世界経済の下振れリスクも顕在化しつつあり、引き続き先行きが不透明な状況が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは、競争力のある事業基盤を形成し、全てのステークホルダーへの貢献を継続して達成するため、第3次中期経営計画（2022年度～2024年度）に基づき、各種施策の検討を進めてまいりました。

外部環境の変化に対応して経営資源を配置・投入し、中長期的視野に立った設備投資や更新投資、メンテナンスを実施していくことで、既存事業の足場固めを行うとともに、新規ビジネスを開拓・育成することや地場産業との関係を深めることなどによって、わが社の強みを活かした付加価値のある仕事を追求するなど事業ポートフォリオを改善し、長期に亘り安定した収益を維持・拡大できる事業基盤の強化に努めてまいります。

ばら貨物については、現在、新規の付加価値が高いオペレーションを行うため既存倉庫の改修を進めております。液体貨物に関しても、メンテナンスを適時・的確に行い事業の安定性を高めるとともに、タンクの更新・新設を含めた設備投資を検討してまいります。また、倉庫事業に関しても、パートナー様と連携を強化し、収益改善に向け様々な取り組みを検討してまいります。

上記の事業活動を踏まえ、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,036百万円となり、前年同期に比べ173百万円、9.3%の増収となりました。

売上原価は、売上の増加に伴い荷役関係諸払費が増加したことや、積極的な既存設備のメンテナンス、設備投資や更新投資に伴う減価償却費の増加などにより、1,646百万円となり、前年同期に比べ86百万円、5.5%の増加となりました。販売費及び一般管理費につきましては、257百万円となり、前年同期に比べ2百万円、1.1%の増加となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は131百万円となり、前年同期に比べ84百万円の増益となりました。また、経常利益につきましては、受取配当金を収受したことなどにより167百万円となり、前年同期に比べ74百万円の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前連結会計年度において税務上の繰越欠損金が解消されたことなどにより法人税等が増加したことから98百万円となり、前年同期に比べ1百万円の減益となりました。

セグメント別の営業の概況は、次のとおりです。

#### (ばら貨物セグメント)

ばら貨物については、石炭等の取扱数量が増加したことや新倉庫が期初より安定して稼働したことなどから、ばら貨物セグメントの売上高は1,040百万円となり、前年同期に比べ16百万円、1.6%の増収となりました。

#### (液体貨物セグメント)

液体貨物については、タンクの稼働率が堅調に推移したことやタンク運営に係る特別作業料を収受したことなどから、液体貨物セグメントの売上高は718百万円となり、前年同期に比べ113百万円、18.7%の増収となりました。

#### (物流倉庫セグメント)

物流倉庫については、昨年度途中で業態転換した冷蔵倉庫が期初より寄与したことなどにより、物流倉庫セグメントの売上高は264百万円となり、前年同期に比べ、44百万円、20.5%の増収となりました。

#### (その他のセグメント)

その他のセグメントの売上高については、売電事業により、前年同期並みの12百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は8,849百万円となり、前連結会計年度末に比べて905百万円増加しました。これは借地料や固定資産の取得による支払により現金及び預金が減少したものの、借地料に係る前払費用（流動資産その他）や有形固定資産が増加したこと及び保有する株式の時価の上昇により投資有価証券が増加したことなどによるものです。

負債合計につきましては、長期借入金や未払費用（流動負債その他）などが減少したものの、保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて183百万円増加し、3,159百万円となりました。

純資産合計につきましては、その他有価証券評価差額金の増加や利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べて721百万円増加し、5,689百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を計上したことなどにより149百万円の資金増加となりました。投資活動によるキャッシュ・フローでは有形固定資産の取得による支出などにより561百万円の資金減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローでは長期借入金の返済による支出などにより134百万円の資金減少となりました。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は388百万円となり、前連結会計年度末に比べて546百万円減少しました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローでは、149百万円の資金増加（前年同期は101百万円の資金減少）となりました。これは前払費用の増加額255百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益を157百万円、減価償却費を154百万円計上したことなどによるものです。なお、前払費用については、当社敷地に係る借地料の下半期6ヶ月分（10～3月分）を9月に支払っております。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出を553百万円行ったことなどから561百万円の資金減少（前年同期は639百万円の資金減少）となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローでは、長期借入金の返済による支出を75百万円行ったことや、配当金の支払額が44百万円あったことなどから134百万円の資金減少（前年同期は7百万円の資金増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2023年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	934,597	388,080
売掛金	335,681	359,378
リース投資資産	810,874	770,593
貯蔵品	49,153	49,859
その他	130,773	310,956
貸倒引当金	△5,820	△5,565
流動資産合計	2,255,260	1,873,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,839,997	1,791,039
その他	781,381	1,175,337
有形固定資産合計	2,621,379	2,966,376
無形固定資産		
投資その他の資産	294,484	293,632
投資有価証券	2,321,469	3,270,050
その他	451,368	445,696
投資その他の資産合計	2,772,837	3,715,746
固定資産合計	5,688,702	6,975,755
資産合計	7,943,963	8,849,059
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,052	125,511
1年内返済予定の長期借入金	147,834	117,144
未払法人税等	49,393	67,359
賞与引当金	39,356	44,968
その他	414,362	369,807
流動負債合計	752,998	724,790
固定負債		
長期借入金	1,118,860	1,074,488
繰延税金負債	434,763	720,307
環境対策引当金	56,188	53,686
退職給付に係る負債	6,043	3,787
資産除去債務	28,398	28,497
その他	578,506	553,562
固定負債合計	2,222,760	2,434,330
負債合計	2,975,759	3,159,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,000	770,000
資本剰余金	365,161	367,486
利益剰余金	2,870,424	2,924,204
自己株式	△47,760	△40,636
株主資本合計	3,957,824	4,021,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,010,378	1,668,883
その他の包括利益累計額合計	1,010,378	1,668,883
純資産合計	4,968,203	5,689,939
負債純資産合計	7,943,963	8,849,059

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	1,862,492	2,036,186
売上原価	1,560,813	1,646,913
売上総利益	301,678	389,272
販売費及び一般管理費	254,725	257,461
営業利益	46,953	131,811
営業外収益		
受取利息	169	157
受取配当金	36,720	40,052
受取補償金	12,287	-
その他	8,340	6,627
営業外収益合計	57,517	46,838
営業外費用		
支払利息	8,616	9,451
遊休設備費	1,776	1,787
その他	1,244	-
営業外費用合計	11,637	11,238
経常利益	92,832	167,411
特別利益		
固定資産売却益	375	599
投資有価証券売却益	41,324	-
特別利益合計	41,699	599
特別損失		
固定資産除却損	3,803	10,704
損害賠償金	12,579	-
特別損失合計	16,382	10,704
税金等調整前四半期純利益	118,149	157,306
法人税、住民税及び事業税	21,607	62,925
法人税等調整額	△4,206	△4,608
法人税等合計	17,401	58,317
四半期純利益	100,748	98,989
親会社株主に帰属する四半期純利益	100,748	98,989



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	100,748	98,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140,452	618,504
その他の包括利益合計	△140,452	618,504
四半期包括利益	△39,704	717,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,704	717,494

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	118,149	157,306
減価償却費	121,566	154,034
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,161	△255
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,839	5,611
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,409	△2,256
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	13,410	13,935
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△1,501	△2,501
受取利息及び受取配当金	△36,890	△40,210
支払利息	8,616	9,451
有形固定資産売却損益 (△は益)	△375	△599
投資有価証券売却損益 (△は益)	△41,324	-
有形固定資産除却損	3,803	10,704
受取補償金	△12,287	-
損害賠償金	12,579	-
売上債権の増減額 (△は増加)	88,157	△23,696
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,231	△706
仕入債務の増減額 (△は減少)	△95,114	23,458
未払又は未収消費税等の増減額	△94,676	90,617
前払費用の増減額 (△は増加)	△239,754	△255,248
リース投資資産の増減額 (△は増加)	38,533	40,281
その他	△4,581	△14,754
小計	△121,829	165,173
利息及び配当金の受取額	36,890	40,210
利息の支払額	△8,572	△9,422
法人税等の支払額	△7,777	△46,247
補償金の受取額	12,287	-
損害賠償金の支払額	△12,579	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△101,581	149,712
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△686,174	△553,568
有形固定資産の売却による収入	4,500	600
無形固定資産の取得による支出	△1,718	-
有形固定資産の除却による支出	△1,713	-
投資有価証券の売却による収入	49,444	-
その他	△3,572	△8,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△639,233	△561,562
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	300,000
短期借入金の返済による支出	-	△300,000
長期借入金の返済による支出	△105,042	△75,062
リース債務の返済による支出	△7,230	△6,025
自己株式の処分による収入	-	9,450
配当金の支払額	△29,829	△44,923
その他	149,184	△18,192
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,082	△134,752

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	118	84
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△733,614	△546,517
現金及び現金同等物の期首残高	1,542,709	934,597
現金及び現金同等物の四半期末残高	809,095	388,080

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,024,014	605,553	219,527	1,849,095	13,396	1,862,492	—	1,862,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,024,014	605,553	219,527	1,849,095	13,396	1,862,492	—	1,862,492
セグメント利益又は損失 (△)	△20,344	231,117	△7,102	203,671	7,141	210,812	△163,859	46,953

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△163,859千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,040,551	718,713	264,454	2,023,719	12,467	2,036,186	—	2,036,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,040,551	718,713	264,454	2,023,719	12,467	2,036,186	—	2,036,186
セグメント利益又は損失 (△)	△47,025	269,656	88,822	311,453	6,225	317,678	△185,866	131,811

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△185,866千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。